

FaceBookより原田正彦

■令和5年度ヘリテージマネージャー・ステップアップ講座第4回講座

最終第4回講座は、令和5年12月16日（土）で、山口県旧県会議事堂議場で行われました。

今回講師は3人。

高橋好夫氏は、今回3か所で実施した古民家・近代建築の実測調査のまとめと、痕跡調査から判明した事柄などを話されました。

私は、午前中が今年度HM関わった7件の実測調査の報告と今後の展開について。午後からは、この秋に関西で開催された「近代建築のイベント」を報告し、山口に残された近代建築の活かし方について、提案をしてまとめました。

佐野春仁氏は、私の大学時代の同級生です。何事にも研究熱心な人間でした。学生時代は、増田研究室で現代建築の設計などをしていましたが、今は京都の伝統的な古社寺や町家を護る技術者を育てる学校の校長さん。

地元の伝統建築を教えるリーダーになっておられ、今回は学生たちがその教育の中で山からの木の切り出し、加工、組み立て、土壁塗りなどを学ぶ様子から、町家や茶室などを実際に施工し、その中で伝統を活かす技術を学ぶ生き生きとした姿などを多くの画像で紹介されました。

伝統を学ぶ若者たちと一緒に、新しい伝統作りに挑む姿に改めて感動しました。

また、会場であるこの県会議事堂の議場を「とてもいい!」とほめてくれたのも、嬉しかったです。

最後に、蔵本建築士会会長の挨拶の後、会長と佐野先生を囲んで記念写真を撮ってもらいました。

〔次第〕

1 現地調査成果まとめ9:30～12:00

(1) 今年度の歴史的建造物調査のまとめ

講師：原田正彦氏（山口県建築士会HM協議会副会長） 9:30～11:00

(2) 3現場での各班実測報告11:00～11:30

(3) 現地調査における痕跡調査のポイント

講師：高橋好夫氏（高橋好夫一級建築士事務所） 11:30～12:00

2 講演 13:00～16:00

(1) 講演「近代建築をエリアで活かす」

講師：原田正彦氏13:00～13:30

(2) 基調講演

「伝統に生きている技術を学び伝える～私と学校の挑戦」 13:30～16:00

講師：佐野春仁氏（京都建築教育専門学校校長）